

10月	11月	12月	1月	2月	3月
-----	-----	-----	----	----	----

【南中祭・発表】 5 6 15
南中祭での総合的な学習の時間の中間発表会を通し、地域の方々に、SDGsの視点から共に考えていきたいことについて発信する。

【SDGsワークショップI】 4 12
朝日SDGsジャーナルによる新聞記事を読み、友達と意見を交流する活動を通して、SDGsの視点から私たちの生活について考える。

【社会】9 11
「東北地方」東北地方の伝統文化や災害の経験を生かしたまちづくりについて、自分の考えをまとめることができる。

【道徳】12 16
「釧路湿原を守れ」環境保護と開発



課題追究2 「気候変動の不思議に迫ろう」

課題設定3 温暖化を食い止めるために私たちは何ができるだろうか?

課題追究3 「エコシティをつくろう」～私たちの未来を考える～

【まとめ・振り返り・発信】
新たな課題の出現

【気候変動のミステリー授業】 3 4 8 12 13
気候の変動がなぜ起こるのか、その原因と影響について理解する。
・気候変動の原因は何か?
・世界にどんな影響を与えているのか?

【修学旅行 オーステッド・ジャパン 企業見学】 3 5 8 11 12
修学旅行で企業を訪問し、エネルギーと環境に関わる企業の取組について知見を深める。
・洋上風力発電の企業では、どんな仕事をしているのだろうか?
・秋田沖の洋上風力発電についてもっと詳しく知りたいなあ。
・将来社会の一員として、どんな仕事をしていくとよいだろう?

【エコシティをつくろう】 3 5 8 11 12
建築士・松塚智宏先生とエコシティについて考え、話し合うことを通して、誰一人取り残さない持続可能な未来の社会について考えている。
・1年生の時に家庭科で「エコハウスをつくろう」の学習をしたなあ。
・「エネルギーと環境」の視点から考えると、今のままならばどんな未来になっていくのだろうか?
・誰一人取り残すことなく暮らしやすい社会にするためには、どんな工夫が必要だろうか?

【まとめ・振り返り・発信】 5 6 7 8 9 10 15 16
◇「エネルギーと環境」の視点から、持続可能な社会の実現に向けて何ができるか考えることを通して、これまでの学習を振り返る。
・SDGsを達成するために、私たちにはこんなことができそうだ。
・身近なことからすぐに実践していきたい。
・学んだことを地域の方々に積極的に発信していきたい。
◇これまで学習してきた内容や行動のよさを実感する。
・1年間の学習を通して、友達や地域内外の方々と共に学びを深め、実践できた。
・今後も地域や国、世界のためにできることを実践していきたい。

【理科】3 4
「発電に関する出前授業」東北電力による授業を通して、発電の仕組みについて理解することができる。

【理科】7 9 11
「電気エネルギー、発電機の仕組み」電流によって発生する熱エネルギーが大きくなる条件や発電の仕組みについて考えることができる。



【国語】11 13 16
「モアイは語る～地球の未来」自分の知識や考えと比べながら筆者の論理の展開を捉え、考えを広げたり深めたりすることができる。



【理科】3 11 13
「気象がもたらす恵みと災害」気象現象によって、どのような恵みや災害がもたらされるのか考えることができる。



【国語】11 12
「立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する」互いの立場を尊重しながら、考えが広がったり深まったりする話し合いをすることができる。



【国語】11 12
「立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する」互いの立場を尊重しながら、考えが広がったり深まったりする話し合いをすることができる。



【技術】3 16
「生物育成に関する技術」生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法について知り、その適切な評価・活用について考えることができる。

①～⑯：育成を目指す主な資質・能力